

あなたの県政

ひょうご

EYE



平成21年度版

再生兵庫の実現へ



兵庫県マスコット
「はばタン」

兵 庫 県

<http://web.pref.hyogo.lg.jp>

の実現へ

〔時代認識〕

信頼関係や連帯意識の希薄化

東西冷戦の終結から20年が経ち、アメリカを中心とした国際的な政治経済の枠組みが大きく揺らいできました。サブプライムローン問題に端を発する金融危機は、世界を同時不況に巻き込み、テロリズムや地域紛争は、止むどころか多発化の様相を呈しています。

行き過ぎた市場原理主義のもと、個々の利益追求を第一とする考え方は、日々の暮らしとかけ離れた投機資金の拡大となってバブル経済を招きました。ともすれば強者こそが正義と受け取れるような力による統治手法は、国家や民族の間での不信感を拡大させてしまったのではないのでしょうか。

世界は今、経済と国際政治の両面で、アメリカ一極構造からそれぞれの国や地域が個性を尊重し合い、連帯する多極構造へと模索を始めています。

国内では、命と生活の基本である食の安全を脅かす事件や身勝手で理不尽な犯罪が増加し、また、企業の業績悪化を

背景とした深刻な雇用不安や年金をはじめとする社会保障への不信感が広がるなど、日本社会の基底であった信頼と安心が大きく揺らいでいます。わが国は、戦後、民主化と経済成長という目標のもと、国民全体が一つになって、自由で豊かな社会をめざしてきました。

しかし一方で、個人の自由を尊重するあまり、誤った権利意識による自己中心的な価値観や、競争原理を絶対視し、一人勝者になることを誇るような風潮が、お互いの信頼関係や連帯意識の希薄化を招いてしまったのではないのでしょうか。

中央集権体制から 分散分権体制への転換

社会を支える人と人とのきずな、他者への思いやりのこころは、私たち人間が最も大切にしなければならぬ基本であり、それは、家庭や地域における豊かな人間関係のなかで育まれるものです。社会との関係をうまく築くことができない子どもたちの増加は、自己の確立と人間関係をつくる家庭や地域の機能が低下しているこ

との表れではないかと懸念されます。

また、経済の拡大や社会の成長に最適であった、効率性と画一性を重視する社会経済システムは、今や、人、物、資金、情報の東京一極構造を固定化し、わが国全体の活力低下をもたらしています。

多様性や個性を重視する成熟社会を迎えた今、人や地域がそれぞれの個性を認め合い、連帯しながら、自分にふさわしい生活ができる共生型の社会構造が求められています。

そのためには、画一的で硬直的な中央集権体制から、地方的自己決定、自己責任が貫ける、機動性と柔軟性に富んだ分散分権体制への転換を加速しなければなりません。

連帯してつくる

多様な共生社会の構築を

広大な県土を有し、日本の縮図と言われる兵庫は、神戸阪神、丹波、但馬、播磨、淡路の五つの地域の個性を発揮しながら、一体となって発展してきました。そして、未曾有の大震災から、ともに力を合わせて、支え合いながら創造的復興を成し遂げ

てきた経験は、どのような困難も克服できる底力となって、兵庫の明日をつくってくれるはずです。

兵庫のもつ多様性と個性、人と人、地域と地域のきずな、これこそが、今日の閉塞感を打ち破り、兵庫を再び元気にする再生力ではないでしょうか。今こそ、この力を結集して、主体性と責任感をもって行動する人々が連帯してつくる多様な共生社会を築いていくときです。

〔県政推進の基調〕

兵庫では、かねてより、生活の科学化や生活の文化化、生活創造を推進し、さまざまな県民主体の政策を展開して、県民生活重視の先進的な県政を推進してきました。そして、大震災からの創造的復興の経験や教訓を原点として、地域社会の共



兵庫県知事 井戸敏三

再生兵庫

同利益の実現と県行政の推進の両面で、県民の参画と協働を基本姿勢とする県政を進めてきました。

このような兵庫だからこそ、県民主役の地域づくりを進め、わが国の成熟社会を先導していかねばなりません。

これからの数年間、厳しい経済環境は避けられません。しかし半面、この苦境は新しい時代に備える好機ととらえることもできます。明日の新たな飛躍に向けて、兵庫の底力を発揮し、未来への投資を進めていこうではありませんか。

緊急経済雇用対策の実行

このため、まず、緊急経済雇用対策に万全を期します。

世界同時不況が進行するなか、本県の経済雇用情勢もますます厳しさを増しています。

本県では、昨年9月の緊急措置に始まり、去る1月30日の臨時議会で議決いただいた追加補正予算による対策まで、4度にわたる対策を講じ、緊急の経済対策と雇用の安定を図ってきました。今年度においても、引き続き、経済雇用対策を最優先課題として、中小企業の資金繰り対

策をはじめ、本県としてとりうる対策を適時、適切に実行し、県民生活の安定をめざします。

行財政構造改革の推進

次に、行財政構造改革を着実に推進します。

本格的な地方分権への流れのなかで、成熟社会の多様な県民の要請に的確に対応できる持続可能な行財政構造を確立しなくてはなりません。

今年度は、昨年の9月議会で議決いただいた新行財政構造改革推進方策が実質的にスタートする年です。経済環境の急変による税収の減少や緊急経済雇用対策などに伴い、将来負担のさらなる増嵩が見込まれますが、県民生活への支障をできるだけ最小限に抑えながら、大震災の復旧復興の過程で生じた大きな債務を解消していくという基本方針を堅持し、平成30年度の目標達成に向けて、全力で臨みます。

新時代の兵庫づくりへの道筋の確立

第三に、新時代の兵庫づくりへの道筋を確かにしていきます。平成13年に県民の皆さんと

ともに策定した21世紀兵庫長期ビジョンが中間年を経過しました。これまでの8年間、創造的市民社会、環境優先社会、しごと活性社会、多彩な交流社会という四つの社会像の実現をめざし、コミュニティで支える安全安心の基盤の構築、自然再生で培った環境の創造、先端科学技術が先導する産業成長力の育成、地域個性を生かした交流の活性化などに取り組んできました。

このなかで、これからの新しい兵庫づくりに向けた課題も見えてきました。人口減少社会を目前に控え、これへの適切な対応です。総人口の減少という量的問題に加え、急速な少子化と高齢化の進展、地域間の人口偏在という質的な問題への対応が必要となっています。もう一つは、地球時代における本県の役割です。世界中の地域と地域が直接つながる時代を迎えました。世界同時不況をはじめ、地球温暖化や食糧危機等は本県に直接影響します。もともと世界に開かれた日本の窓として発展してきた本県だからこそ、地球的な視点で地域のあり方を考えなくてはなりません。

このため、県民の参画と協働のもと、長期ビジョンを見直し、これらの課題への対応策を明らかにしていきます。

21年度県政の五つの柱

私たちは、新しい時代を切り拓く力を持たねばなりません。緊急経済雇用対策で足下の基盤を固め、新行革プランでしっかりと県政の枠組みを構築し、そして、長期ビジョンの見直しで未来の兵庫づくりを共有する。これらの三つの取り組みを基調として、今年度は、

活力を生む元気な兵庫
質の高い生活をめざす兵庫
交流と連携を進める兵庫
家庭と地域が支える兵庫
安全安心をつくる兵庫

の五つの柱を基本に、再生兵庫への布石となる施策を展開します。県政を取り巻く環境が厳しい時代だからこそ、引き続き、参画と協働を基本姿勢として、県民本位、生活重視、現場主義の県政を推進し、ふるさと兵庫の確かな再生をめざしていきます。

(平成21年度予算提案説明から)

平成21年度の予算

力強い兵庫の再生へ

選択と集中、切れ目のない予算を編成

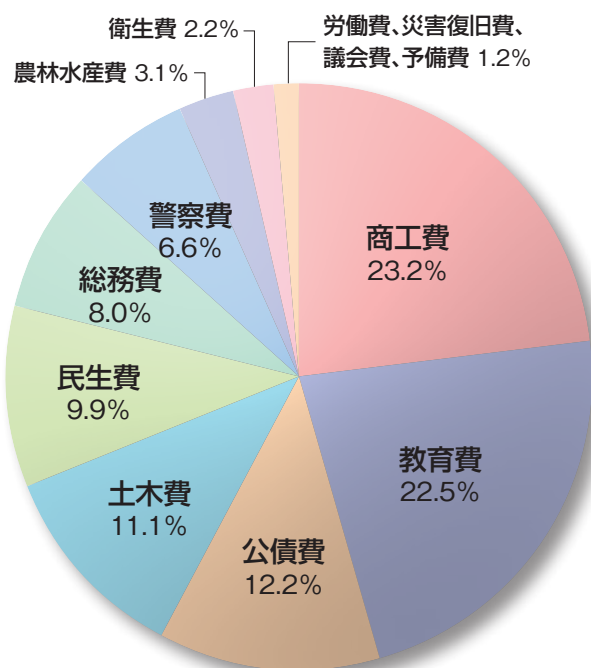
世界同時不況が進行する中、兵庫県の経済・雇用情勢も厳しさを増しています。

県では昨年度、国の補正予算措置を最大限に活用しつつ、4度にわたって緊急の経済対策や雇用の安定化等を図りました。

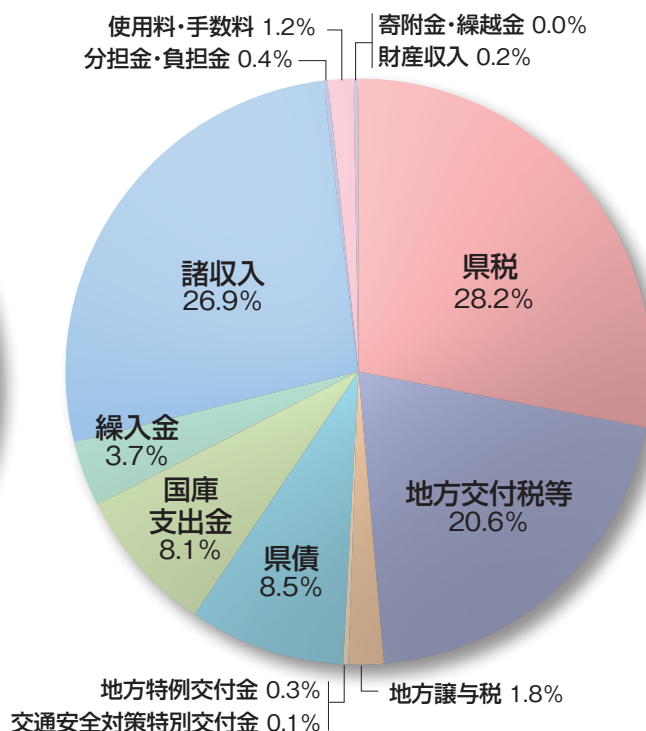
今年度においても、緊急経済雇用対策で足下の基盤を固め、新行革プランでしっかりとした県政の枠組みを構築し、長期ビジョンの見直しで未来の兵庫づくりを共有します。

そして、参画と協働を基本姿勢に、県民本位、生活重視、現場主義の下、「活力を生む元気な兵庫」「質の高い生活をめざす兵庫」「交流と連携を進める兵庫」「家庭と地域が支える兵庫」「安全安心をつくる兵庫」「参画と協働を推進する兵庫」「分権改革を先導する兵庫」を柱に、施策の選択と集中を徹底して力強い兵庫の再生に取り組んでいきます。

歳出 一般会計 2兆1,173億円 (対前年度比 7.1%増)



歳入 一般会計 2兆1,173億円 (対前年度比 7.1%増)



当初予算の特徴

21年度は、厳しい経済・雇用情勢を踏まえて、県民生活の安定を図りつつ、行財政構造改革推進方策の取り組みを進めます。さらに、新時代の兵庫の構図をしつかりと描き、地域課題の解決や地域の特色を生かした元気で安全安心な兵庫づくりを進めます。そのために施策の選択と集中を徹底させながら、20年度補正予算との間で切れ目のない対応を行い、一体的な効果を上げることがを基本に予算を編成しています。

1 歳入

企業業績の急激な悪化に加え、地方法人特別税の創設により法人関係税が前年度を1041億円下回りました。また、株価の低迷により、個人県民税配当割や株式等譲渡所得割も減収となることから、県税収入は前年度当初予算に比べて1326億円の減(△18.2%)となりました。一方で、地域雇用創出推進費の創設や県税の大幅な減収を受けた基準財政収入額の減等により地方交付税等は878億円の増(+25.3%)となっています。

2 歳出

(1) 経済雇用対策

厳しい経済・雇用情勢に的確に対応し、県民生活の安定を確保するため、平成20年度1月補正予算と合わせ、切れ目のない一体的な対応を行っています。

(2) その他

定員・給与の見直しや定年退職者数の減等により、前年度当初に比べて人件費が155億円の減となりました。

また、投資的経費(普通建設事業)は、79億円の減となりましたが、厳しい経済・雇用情勢を踏まえ、後年度実施予定事業を前倒し実施することにより、平成20年度補正と合わせ、前年度当初予算並の事業量を確保しました。

一方、中小企業制度融資の融資目標額拡充に伴う預託金や、公債費は増となっています。

3 収支不足による財源対策

収支不足額は、前年度(1195億円)に比べ改善したものの、税減収の影響等により新行革プランに基づく財政フレームにおける収支不足額(1025億円)を145億円上回り1170億円となることから、これを補てんする特別な財源対策を講じます。

(1) 財政フレーム上の財源対策

…1025億円

平成21年度の財政フレームの枠組みに沿って対策を講じます。

- ①退職手当債(350億円)
- ②行政改革等推進債(300億円)
- ③県債管理基金取り崩し(375億円)

(2) 特別な財源対策…145億円
財政フレームに定められた財源対策を講じても不足する145億円について、特別な財源対策を講じます。

- ①行政改革等推進債の追加発行(30億円)
- ②県債管理基金の追加取り崩し(115億円)

4 プライマリーバランス

平成17年度発行県債の償還開始に伴い、公債費が約109億円増加する一方、県債発行額が約14億円の減となることから、プライマリーバランス(基礎的財政収支)は前年度より123億円改善し、130億円の黒字となりました。

5 法人県民税の超過課税の延長

現在、法人県民税は標準税率5.0%に、超過税率0.8%を上乗せしています。今年の9月が期限となっていますが、勤労者の仕事と生活の調和を実現し、多様な働き方、生き方や健康で豊かな生活環境の確保が可能となる社会づくりを進めるため、さらに10月から5年間延長します。

平成21年度の主な事業

1 活力を生む 元氣な兵庫

緊急経済雇用対策

中小企業への金融支援

世界的な金融危機により、中小企業を取り巻く環境が激変していることを踏まえ、過去最大の融資目標額を確保し、資金繰りを支援します。併せて、生産ラインの見直しなど、設備を更新しようとする中小企業を対象に「設備更新貸付」を創設します。また、商工中金と連携して、新たな受注の獲得や技術革新を目指す中小企業の設備投資を支援する「チャレンジ企業設備投資応援融資制度」を創設するなど、将来の成長への基盤をつくります。

④県経営商業課
☎078(362)9162・4235

緊急雇用就業機会創出事業の実施

緊急に一時的な雇用・就業機会を創出するため、国交付金を原資とした基金事業を実施します。雇用の確保と安定、県民の安全安心の確保、人材育成、社会基盤・公共施設の整備などを目的とした45事業を実施し、今後3力年にわたって約3千人の雇用創出を目指します。

④県しごと支援課
☎078(362)3227

ふるさと雇用再生事業の実施

国交付金を原資として、人材確保が課題となっている農林水産業や福祉介護分野などでの雇用創出や障害者の就業機会の拡大などを目指した30事業を実施し、地域における継続的な雇用機会を創出します。

④県しごと支援課
☎078(362)3227

ひょうご仕事と生活センター（仮称）事業の推進

企業にとって人材確保や生産性の向上をもたらし、勤労者には働く意欲や働きがいをもたらす「仕事と生活のバランス」を全体的に進めるため、「ひょうご仕事と生活センター（仮称）」を設置。ワンストップ相談や情報誌の発行のほか、中小企業を対象に出産、育児等による離職者の再雇用を促進する助成金制度等を実施します。

④県しごと支援課
☎078(362)9183

成長産業の育成

次世代スーパーコンピュータの産業利用への支援

世界最高性能の計算速度を持つ次世代スーパーコンピュータの立地に伴い、その利用支援施設として「高度計算科学研究支援センター（仮称）」の整備を進めます。

これにより、新たな知的創造拠点の形成や新産業の創出につなげていきます。

④県科学振興課

☎078(362)3335



次世代スーパーコンピュータ完成イメージ図
資料提供：(独)理化学研究所

工業技術センター、ものづくり大学校（仮称）の整備

ものづくり産業の競争力強化を支援するため、高度なニーズに対応できる先端研究開発機器や産学連携・交流機能を有した開放型の研究施設として、工業技術センターの再整備を進めます。

また、ものづくり人材の育成と青少年へのものづくり体験の場の提供を行う「ものづくり大学校（仮称）」の建設工事等に着手します。

④県工業振興課

☎078(362)3334

県能力開発課

☎078(362)3366

農林水産業の振興

ひょうご農水産物ブランド戦略の推進

淡路島タマネギや神戸ビーフ、松葉ガニ等に加え、新しいブランドの但馬のサンショウ、西播磨のジャンボピーマンなど、産品ごとに有する「強み」を再検証し、その魅力を生かしたブランドの確立を進めます。

また、「ひょうご農林水産物拡大協議会（仮称）」を新たに設置し、販路の拡大を行うとともに、ブランド化に関する専門知識等を学ぶ研修会を



⑤甘くておいしい淡路島タマネギ ⑥冬の味覚、但馬の松葉ガニ

行い、市場調査、企画、開発、情報発信、販売、診断、管理までを総合的にコーディネートし、ブランド商品の販売戦略を構築できる人材を育成します。

◎県総合農政課

☎078(362)9193

新規就農総合対策事業の実施

農業後継者を安定的に確保するため、新規就農者を年間200人以上育成することを目標に、初期投資を支援する「新規就農チャレンジ事業をはじめ、異業種分野からの新規参入や農業法人等の規模拡大等を支援する」新規就農インキュベーター事業を実施します。また、就農相談活動や新規就農者が地域へ定着するための研修活動等を一体的に実施します。

◎県農業経営課

☎078(362)9194

都市農業の推進

阪神地域をモデルに、推進委員会を設置して都市農業の振興方策や農地保全の在り方を検討するとともに、県民誰もが気軽に楽農生活を実践できる体験型市民農園



農業とかかわり、ゆとりと安らぎを実感できる「楽農生活」

の整備を進めます。また、地産地消を進めるために、新鮮でおいしい県産農産物等を産地から直接都市地域の県民に届けるとともに、情報発信拠点として都市地域直売施設の整備を進めます。

◎県総合農政課

☎078(362)9216

ひまわり森への推進

成熟化が進む人工林を有効に活用するため、平成22年度に稼働予定の県産木材供給センターへの原木の供給をはじめ、県産木材を利用した住宅建設への支援等に取り組みます。また、シカによる深刻な農林業被害を軽減するため、年間捕獲目標を2万頭に拡大し、

シカ肉の活用や防護柵の設置などの対策を強化します。

◎県林務課

☎078(362)9224

◎県自然環境課

☎078(362)3463

教育の推進

「兵庫型教科担任制」実践研究事業の実施

小学校の5・6年生において、学習指導要領改訂の趣旨を踏まえ、学力の向上や中学校へ円滑につなぐ観点から、「教科担任制」と「少人数学習集団の編成」を組み合わせた「兵庫型教科担任制」の実践研究に取り組み、全校実施に向けた在り方を検討します。

◎県教育委員会義務教育課

☎078(362)3771

環境体験事業の実施

公立小学校の3年生を対象に、命の大切さを学ぶため、地



小学3年生の環境体験事業

域の自然の中へ出掛けていき、地域の人々等の協力を得ながら、栽培・飼育等の自然体験活動を行う環境体験事業を今年度から全校で実施します。

◎県教育委員会義務教育課

☎078(362)3771

兵庫県立大学の充実

兵庫県立大学は、今年4月、姫路新在家キャンパスに管理栄養士を養成する「食環境栄養課程」を、県立淡路景観園芸学校に全国初の農学・環境系の専門職大学院となる「緑環境景観マネジメント研究科」を開設します。



食環境栄養課程の実習を行う研究棟

また、明石キャンパスでは、助産師の活用と能力向上を目指す「パースセンター構想」を

進めるほか、神戸学園都市キャンパスでの経営専門職大学院の開設備備や、姫路書写キャンパスでの産学連携共同実験棟を活用した起業支援の取り組みなど、全学で高度な研究を進めます。

◎県大学課

☎078(362)3103

子育て支援の充実

安心子ども基金事業等の実施待機児童の解消とともに、今後の保育需要の増加等に対応するため、国交付金を原資とした安心子ども基金を活用し、認定こども園の拡充や、保育所の緊急整備、放課後児童クラブ設置促進事業等に取り組みます。

◎県児童課

☎078(362)3197

乳幼児子育て応援事業の実施

親子で体験する講座や子育て教室を開催し、親が教室に参加している間の子どもの預かり等を県内の民間保育所141カ所で行い、0〜2歳児の保護者を支援します。

◎県児童課

☎078(362)3199

児童虐待防止対策の推進

重大な虐待事案の再発を防止するとともに、増大する虐待相談に適切に対応するため、西宮こども家庭センター川西分室を独立させ、川西こども家庭センターを設置します。また、各こども家庭センターに医師、弁護士等から成る家庭復帰等を評価する委員会を設置するとともに、重大困難事案において司法的な調整を行う児童福祉専門調整員を配置するなど、機能を強化します。また、24時間365日体制で相談援助を行う児童家庭支援センターを増設します。

◎県児童課

☎078(362)3182

地域協働による子育て支援

地域ぐるみで子育て家庭を応援するため、まちの子育て



県内外の多くの親子が訪れる県立こどもの館

ひろばやファミリーサポートセンター事業、まちの寺子屋プロジェクトなどに取り組みます。また、県内唯一の中核的児童館として多様な事業を展開してきた県立こどもの館が開館20周年を迎えるに当たり、これまでの成果を発信する記念事業を開催します。

◎県少子対策課

☎078(362)4185

妊婦健康診査費の補助

安全、安心な出産を迎えるためには、妊婦健診の受診が大切です。このため、全市町において、標準的な妊婦健診14回分に対する公費負担の取り組みが進むよう、県単独の補助制度を今年度から来年度にかけて実施します。

◎県健康増進課

☎078(362)3250

企業等による子育て環境整備の促進

仕事と家庭の両立や、企業の子育て支援を促進するため、事業所内等に保育施設を設置する事業主等に対し、設置経費等の2分の1(限度額750万円)を補助する事業

所内保育施設整備推進事業を実施します。

また、県では、全国初の「職員の子育て支援に関する条例」を制定し、育児休業等取得しやすい職場環境づくりなど、仕事と子育ての両立支援に取り組めます。

◎県少子対策課

☎078(362)4186

県人事課

☎078(362)9048

2 質の高い生活をめざす兵庫

環境対策とまちづくり

地球温暖化防止対策の推進

「新兵庫県地球温暖化防止推進計画」の計画期間が平成22年度末で終了するため、次期計画策定にかかる事前調査を実施します。また、家庭部門では、CO₂排出量を分かりやすく示す「見える化」によって削減に取り組むとともに、削減しきれない排出分を代替措置で埋め合わせるカーボン・オフセット(CO₂排出量相殺)制度を構築します。さらに、県内の温室効果ガス排出量の7

割近くを占める産業部門での削減を進めるため、大規模事業者が中小事業者に技術、資金等を支援し、協力して削減した排出量を大規模事業者に移転するCO₂削減協力事業を試行します。

◎県大気課

☎078(362)3273

人工衛星画像を活用した不法投棄監視事業の実施

道路脇から発見しにくい場所や山間部など、不適正処理がなされている可能性がある地表改変等を早期に発見し、重点的に監視・指導するため、人工衛星画像を活用するとともに、新たに不法投棄監視調査員を県民局に配置し、監視体制を強化します。

◎県環境整備課

☎078(362)3281

生物多様性社会の推進

貴重種のほか、地域の特色ある生物や生態系等を含むレッドデータブックを作成します。また、公共工事などの際の配慮事項等をまとめた生物多様性配慮指針を作成し、生物多様性の保全・再生活動の支



コウノトリと共生できる環境づくり

援基盤を整備します。さらに、瀬戸内海を豊かで美しい里海として再生するための新たな整備を目指します。

◎県自然環境課

☎078(362)3274

県水質課

☎078(362)9313

淡路を舞台とする

花の祭典の開催

淡路花博の開催から10周年を迎え、これまでの緑化再生・環境再生の成果の検証と今後の取り組みの方向性を探るとともに、淡路地域の振興を目的に、来年3月から5月にかけて、淡路夢舞台と国営明石海峡公園をメイン会場に、ガーデン展示や、国際会議、シンポジウム等を開催します。

◎県公園緑地課

☎078(362)3549

生涯学習・芸術文化・スポーツの振興

阪神シナレジコミュニティ講座 (阪神ひとまち創造講座)の開設

56歳以上の阪神地域(神戸市含む)在住者を対象に、阪神地域の歴史、文化、産業などの地域の魅力や課題をはじめ、地域社会における人間関係の在り方、さまざまな地域活動等を学ぶ機会を提供します。

◎県民生活課

☎078(362)3894

芸術文化・スポーツの振興

県立芸術文化センターでの芸術監督プロデュースオペラ「カルメン」や、県立美術館の特別展「20世紀のはじまり」



触れて体感できる考古学のワンダーランド、県立考古博物館

ピカソとクレーの生きた時代―、県立考古博物館の特別展「王朝国家の光芒」など、魅力あふれる芸術文化事業を展開します。

また、のじぎく兵庫国体等で高められた競技力を将来の発展へとつなげるため、次世代を担うジュニア選手の発掘・育成や若手指導者の資質向上を目指すほか、神戸市街地を中心としたフルマラソン大会の調査研究を実施し、スポーツ活動を促進します。

◎県芸術文化課

☎078(362)3153

県教育委員会社会教育課

☎078(362)9434

県教育委員会スポーツ振興課

☎078(362)9446

3 交流と連携を進める兵庫

小規模集落元気作戦の展開

人口減少・高齢化が進んだ小規模集落の活性化に向け、対象集落を拡充し、都市地域との交流を軸に住民の主体的な取り組みを支援します。

◎県地域担当課長

☎078(362)4314

多自然居住地域における県土空間活用モデル事業の推進

地域の個性と資源を生かし、多自然居住地域の振興と

地域での県土空間を活用した地域活性化の取り組みを支援します。

◎県地域担当課長

☎078(362)9015

観光交流キャンペーンの実施

「あなたに会いたい兵庫があります。」をキャッチフレーズに、全国から観光客を誘致する兵庫県大型観光交流キャンペーン(あいたい兵庫デステーションキャンペーン)を今年4月から6月にかけて実施します。また、同キャンペーンで培われた実践的な取り組みを継承・発展させ、さらなる誘客を進めるため、平成22年度を実施期間とする「あいたい兵庫キャンペーン(仮称)」を展開します。

◎県観光振興室

☎078(362)9159



地元ガイドが案内するまち歩きコース

あいたい兵庫 デステーション キャンペーン

(平成21年4月~6月開催)



参加・体験型イベントや地元ガイドが案内するまち歩き企画など、兵庫の魅力を満喫できる特別企画が盛りだくさん。豊かな山海の恵みと極上のおもてなしで観光客をお迎えします。

まち歩きコース

地域の人々が作り出した全51コース。誰でも気軽に参加できます。

- ▶「旧居留地」と「元町老舗」訪問ガイドツアー
- ▶姫路城を支えたまち 船場・城西
- ▶小京都出石ぶらり散策コース
- ▶地元ボランティアガイドと行く丹波焼の里 窯元路地歩き

特別企画

この時ならではの100を超える特別企画をご用意。その一部をご紹介します!

- ▶六甲・まや1000万ドルの夜景鑑賞バスツアー
- ▶多田神社の秘宝公開
〜いにしへのロマン漂う川西市で清和源氏発祥を探る〜
- ▶三木金物「日曜手づくり工房」で「マイ包丁」を作ろう!
- ▶淡路島・沼島国生み神話ツアー



詳しくは、全国のJR主要駅で配布しているイベントガイドブックまたはホームページをご覧ください。

◀配布中のイベントガイドブック

<http://www.hyogodc.jp/>

あいたい兵庫

検索

にアクセス!

ハバロフスク地方友好提携40周年記念事業、ウシントン州友好提携45周年事業の実施

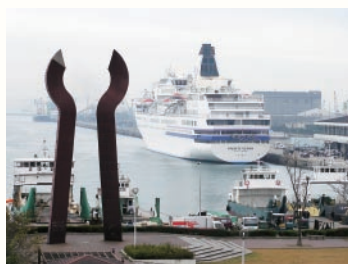
兵庫県がロシアのハバロフスク地方と友好提携を締結して40年、米国のウシントン州と友好提携を締結して45年を迎えます。これを機に、友好代表団の派遣を軸とした記念事業を実施し、経済交流をはじめとした交流をさらに活発化し、多彩な国際交流の展開と経済活性化・地域振興を進めます。

◎県国際経済課

☎078(362)3026

姫路港開港50周年記念事業の実施

開港50周年という大きな節目を迎える姫路港の一層の発展を願い、「みなとがひらく播磨の未来」をテーマに、今年4



播磨工業地帯の中核港湾として一層の発展が望まれる姫路港

月から8月にかけてヨットレース、記念シンポジウム、海の日記念フェスティバル、帆船「海王丸」の一般公開など、姫路港の魅力を伝える多彩な行事やイベントを開催し、港・海への関心と理解を深めます。

◎県港湾課

☎078(362)3536

鉄道利便性の向上対策の推進

平成22年秋予定の余部橋梁架け替えによる定時性確保の効果を最大限に発揮させるた



今年3月に新型車両が導入されたJR姫新線

め、JR山陰本線・播但線の駅信号施設などの設備改良を実施し、新車両導入時の所要時間の短縮に向けた輸送改善事業を進めます。

また、JR姫新線の所要時間の短縮や快適性向上のため、

軌道改良工事等を進めるとともに、22年春の高速運転の開始に合わせた増便社会実験を実施します。

◎県交通政策課

☎078(362)3886

コウノトリの野生化に向けた取り組みの促進

コウノトリの野生化の実現に向け、試験放鳥と野生馴化訓練を継続するとともに、県立コウノトリの郷公園で繁殖した個体のロシアへの導入および技術提供を行います。また、同園の開園10周年に当たり、講演やシンポジウムなどの記念事業を開催し、これまでの取り組みの成果を発信します。

◎県教育委員会社会教育課

☎078(362)9434

丹波恐竜化石発掘調査事業等の推進

丹波市で発見された恐竜化石の第4次発掘調査や、化石クリーニング作業を進めるとともに、クリーニング展示施設、ひとはく恐竜ラボにおいて、その成果を広く県民に発信します。また、第3次発掘



ひとはく恐竜ラボで進む、発掘された化石のクリーニング作業

までの成果報告に加え、三田市や篠山市で発掘された哺乳類化石などを県立人と自然の博物館等で展示するとともに、恐竜フェスティバルを開催します。

◎県教育委員会社会教育課

☎078(362)9434

4 家庭と地域が支える兵庫

青少年愛護条例の改正

青少年を取り巻く社会環境の変化に対応するため、青少年愛護条例を改正し、正当な理由のない限り青少年の携帯電話にフィルタリングを利用することや、出会い喫茶営業の規制などを行います。また、改正内容の周知徹底に努める

とともに、県民スクラム運動の展開等により、有害環境からの青少年の保護に取り組みます。

◎県青少年課

☎078(362)3142

家庭力の再生

県民一人一人が、家族や家庭の大切さを考え、地域ぐるみで家庭を支える「ひょうご家庭応援県民運動」を展開します。「家族の日」運動の普及や、地域全体で多世代が支え合う地域三世同居の実現を目指します。

◎県男女家庭室

☎078(362)3169

地域づくり活動の推進

地域づくり活動の担い手として期待されている団塊世代等の退職予定者を対象にした地域デビュー応援ガイドブックの作成や、退職後の生き方を語り合う講座「地域デビュー・座・だんかい」を県内の企業等と協働して開催するなど、団塊世代等シニア層の地域づくり活動を支援します。

◎県地域協働課

☎078(362)3136

5 安全安心をつくる兵庫

防災・減災対策

県立学校の耐震化の推進

地震等災害発生時の児童生徒の安全を確保するため、耐震診断結果に基づき、平成27年度末までに、耐震化率95%達成を目標に耐震改修を行います。なお、今年度は、県立学校21校で耐震設計を行い、20校で耐震改修工事を実施します。

◎県教育委員会財務課

☎078(362)3759

孤立集落防災体制の強化

孤立する可能性のある集落について、効果的な防災体制を整備するため、市町に孤立集落防災力強化マニュアルの作成を促進するとともに、災害時の備えが円滑に進められるよう、特に重要な通信手段およびヘリコプターの臨時離着陸場の整備について市町を支援します。

◎県防災計画室

☎078(362)9809

阪神・淡路大震災15周年事業の実施

震災15周年の節目を迎え、「伝える」をテーマに、防災セミナーや国際防災シンポジウムなどの記念事業を展開。阪神・淡路大震災やそれ以降の災害も踏まえた教訓を国内外次世代にさらに発信し、社会全体として日々の生活の中で減災に取り組む「災害文化」の定着を目指します。

◎県防災企画課

☎078(362)9870



震災の経験と教訓を発信し、1.17を語り継ぐ「ひょうご安全の日のつどい」

医療福祉体制の充実

地域医療体制の充実

医師不足の現状は依然として深刻で、地域の医療体制の確保が差し迫って重要な課題であるため、専門医養成

の後期研修を修了した医師等を県職員として採用し、地域の中核病院へ派遣するなど、医師の量的確保対策に取り組めます。



生活習慣病への対応など、より高度で専門的な医療を提供する県立加古川医療センター

また、今年11月、県立加古川医療センターが診療を開始します。東播磨地域の三次救急医療の拠点として、機能充実に努めるとともに、同センターを核とする健康の拠点づくりを検討します。

◎県医務課

☎078(362)3243

◎県病院局企画課

☎078(362)9169

ドクターヘリ導入の推進

平成22年度から、京都府、鳥取県との3府県共同によ

るドクターヘリ導入に向けた、3府県間の調整等を行い、ドクターヘリ運航体制を確立します。

◎県医務課

☎078(362)4351

認知症支援体制の構築

大幅な増加が見込まれる認知症高齢者への対応として、県内5圏域に専門医療や地域連携の役割を担う認知症患者医療センターを設置するとともに、住み慣れた地域での早期診断に基づく医療提供や支援体制の構築に取り組みます。

◎県高齢社会課

☎078(362)3188

◎県障害福祉課

☎078(362)3263

がん対策の推進

がん検診の取り組みを実施している企業と「がん検診受診勧奨協定」を締結し、企業のセミナーや窓口等においてリーフレットを配布するなど、がん検診の受診を勧奨します。また、女性がん予防に関する知識の普及、検診の受診促進等を行う「がん対策推進員」の研修会を実施し、女性の健康

づくりを支援します。

◎県疾病対策室

☎078(362)3202

障害者への支援の充実

「障害のある人の暮らしやすいひょうごの実現」を目指し、地域での生活や、就労などを支援します。



障害者就業・生活支援センターによる、障害のある方への職場実習支援の様子

このため、知的障害者が自立支援のための宿泊訓練を行うチャレンジホーム制度の創設や、但馬地域における発達障害者支援センター・プランチの設置に取り組みます。また、県内6カ所目となる障害者就業・生活支援センターを丹波地域に設置します。

◎県障害福祉課

☎078(362)9105

◎県障害者支援課

☎078(362)3238

くらしの安全対策

消費者行政推進にかかる体制整備

食品の偽装表示や振り込め詐欺など県民の生活を脅かす事件が多発しています。このため、消費者の視点に立ち、消費者行政の総合調整と食の安全安心の確保に一体的に取り組む組織を設置します。



食品の品質表示状況調査

食品にかかわる相談から検査分析の実施と結果の啓発までを一元的に処理するため、健康環境科学研究センターの衛生部門と生活科学総合センターを統合し、健康生活科学研究所を設置します。

また、食品の生産から販売に至る流通を遡及・追跡できるシステム（食品トレーサビリティ）の導入を促進するた

め、兵庫県独自のガイドラインを作成します。

◎県消費生活課

☎078(362)3157

◎県生活衛生課

☎078(362)3258

新型インフルエンザ対策の推進

新型インフルエンザの大流行に備え、県内でのまん延防止対策、医療体制の充実、抗インフルエンザウイルス薬・感染防護具の備蓄および検査体制の充実・強化を進め、県民の健康被害を最小限にとどめるとともに、社会機能の維持を図ります。

◎県疾病対策室

☎078(362)9130

◎県業務課

☎078(362)3268

6 参画と協働を推進する兵庫

21世紀兵庫長期ビジョンの推進

兵庫の将来の姿を県民の皆さんとともに描いた「21世紀兵庫長期ビジョン」の実現を目指して、県内各地で県民



地域の未来について話し合う地域夢会議

の皆さんとともに展開する地域ビジョン推進プログラムの活動や、地域夢会議の開催等を通じて取り組みの輪を広げていきます。また、少子高齢化人口の地域偏在が進む中で、人口減少社会の到来など、時代潮流の変化について調査研究を行い、ビジョンが目指す社会像の点検と新たな地域像を構築します。

◎県ビジョン担当課長

☎078(362)3056

県民の参画と協働の推進

県民の主体的な地域づくり活動への支援や、県行政への参画と協働を進めるため、



住民参加による沿道緑化など、魅力ある地域づくり

先進的な取り組みや、特色ある取り組みなどをまとめた活動事例集を作成するとともに、団体・企業等と連携して、若い世代の地域づくり活動の体験機会の提供などに取り組みます。

◎県地域協働課

☎078(362)4015

7 分権改革を先導する兵庫

地方分権改革の推進

地方の自己決定・自己責任の原則が貫ける分権型社会の実現を目指し、大幅な権限移譲と地方支分部局の抜本的な見直し、厳しい地方財政の現状に対応し得る地方税財源の充実強化などを国に強く働き掛けていきます。

また、広域防災や広域医療連携などの府県域を超える広域行政課題に対応する責任主体となる「関西広域連合（仮称）」の設立を目指し、県民の皆さんのご意見をいただきながら、関係府県との調整を進めていきます。

◎県政策担当課長

☎078(362)4005

ふるさとひょうご寄附金

「ふるさとひょうご寄附金」は、新しい兵庫づくりの力強い応援となります。兵庫県が、兵庫県らしくあり続けるために、皆さまのお力添えをよろしく願います。

Aさんの場合 夫婦、子ども2人
〔年収〕約700万円
〔所得税率〕10%
〔個人住民税〕30万円

兵庫県に4万円を寄附しました

領収書などで確定申告を行います

寄附金額(4万円)から5,000円を引いた額(3万5,000円)について、税が軽減されます

●所得税(所得控除) 3,500円

3万5,000円×10%(限界税率)

●個人住民税(税額控除) 3万1,500円

3万5,000円×10%+3万5,000円×(90%-10%〔所得税の限界税率〕)

※「ふるさと寄附金制度」とは
応援したい地方公共団体に寄附した場合、居住地の個人住民税や所得税が軽減される仕組みです。

ふるさとひょうご応援サイト

検索

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/ac02/furusato.html>



あなたの
寄附が、ふるさと
ひょうごを支え
ます

新行財政構造改革推進方策

(新行革プラン)

平成21年度の取り組み

厳しい経済・雇用情勢にも機動的に対応しながら、行財政構造改革の着実な推進と適切なフォローアップを図り、県民の要請に的確に対応できる持続可能な行財政構造を確立し、「元気で安全安心な兵庫」づくりを進めます。

組織

○本庁

- ・こども局の設置(こどもを安心して生み育てるための推進体制を整備)
- ・生活消費局および消費者行政推進本部の設置(消費者行政と食の安全安心確保の一体的な推進体制を整備)

○地方機関

- ・県民局本局組織の簡素化・合理化(5部等の廃止、地域課題に対応するための体制整備等)

- ・事務所の統合再編(原則として各県民局1カ所の圏域事務所に統合再編(111→71事務所))

定員・給与

定員削減(△532人、対前年度比△5.1%(平成30年度までにおおむね3割の定員削減を行う部門)、給料等の減額措置の継続により、人件

費を155億円(対前年度比△2.5%)削減します。

事務事業

- ・事務執行の簡素化等による一般事務費・施設維持費の削減
- ・事業の必要性等の観点からの政策的経費の見直し

・見直し総額△10億円、対前年度比△0.8%(一般財源ベース)

投資事業

実際の需要を創出・喚起するため、後年度予定していた学校等の耐震改修事業等を前倒しで実施します(新行革プランで見直した改革期間中の総額の範囲内)。

公社等

- ・団体の廃止(2団体)・統合(4→2団体)

新行革プランの変更

- ・県派遣職員の見直し(△22人)
- ・給料等の減額措置の継続(役員報酬月額△7%等)
- ・県の財政支出(一般財源)の削減(△11億円、対前年度比△8.8%)
- ・「公社等経営評価委員会」による評価指導

平成21年度当初予算編成に伴い、「行財政構造改革の推進に関する条例」に基づき次の変更を行いました。

○財政フレームの見直し

平成21年度当初予算計上額や直近の内閣府試算の成長率等に置き換えた上で、22年度以降の見込額を試算

○妊婦健康診査費補助事業の変更等

○投資事業の前倒し等

○法人県民税超過課税の延長

財政フレームの見直し

【歳入歳出の推移(一般財源ベース)】(単位:億円)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	計
歳入①	△110	△1,360	△1,330	△1,360	△1,460	△1,480	△1,520	△1,550	△1,620	△1,670	△1,730	△15,190
歳出②	△110	△1,360	△1,280	△1,280	△1,310	△1,405	△1,385	△1,425	△1,505	△1,575	△1,675	△14,310
要調整額①-②	0	0	△50	△80	△150	△75	△135	△125	△115	△95	△55	△880

※平成22年度以降に生じる要調整額については、毎年度の財政収支対策、歳入歳出改革を行う中で解消を図る

【参考】要調整額について追加の財源対策を講じない場合の財政健全化指標の見直し(単位:%)

年度	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30
実質公債費比率(3カ年平均)	20.1	21.5	23.0	23.3	23.5	23.8	24.1	23.5	22.6	21.0	19.5
将来負担比率	374.3	384.5	385.9	379.6	369.8	359.4	346.3	333.2	313.3	295.1	276.5

※実質公債費比率:県債およびその利払い費等の税収入など、県の自由裁量で使用できる収入規模(標準財政規模)に対する割合(地方財政健全化法における早期健全化基準:25%)

※将来負担比率:県債残高のほか関連公社の借入金など、県が将来負担すべき実質的な負債の標準財政規模に対する割合(早期健全化基準:400%)

詳細は県ホームページ http://web.pref.hyogo.lg.jp/pa06/pa06_000000016.htmlに掲載しています。

◎県新行政課 ☎078(362)3045

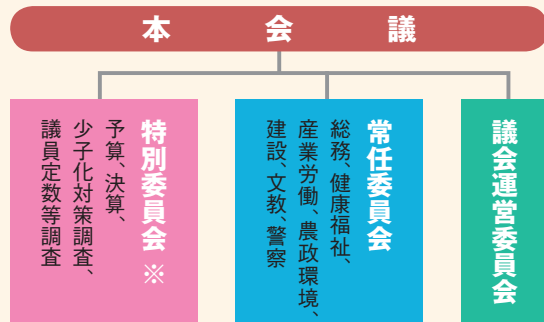


県議会とは

県議会は、豊かで住みよい兵庫を実現するため、県民の選挙で選ばれた議員(任期4年・定数92名)が、県政の基本的な事項について話し合い、決めていく場です。

県議会には、定例会(年4回(2月、6月、9月、12月)開催)と臨時会があり、全議員が出席し、兵庫県という地方公共団体の意思決定を行います。

限られた会期中で、多くの議案などを審議するため、少人数の委員会を設け、専門的かつ詳しく審査しています。



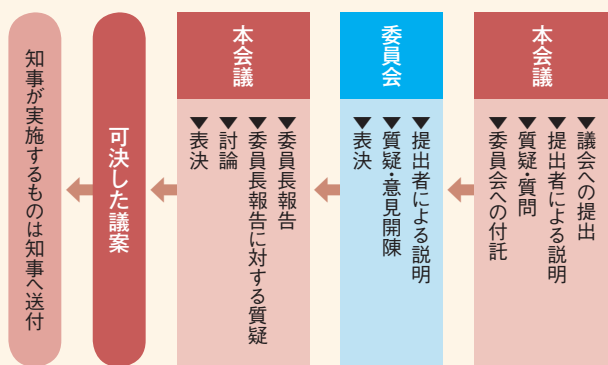
※予算特別委員会は2月定例会で、決算特別委員会は9月定例会でそれぞれ設置されることが通例となっています。

議案成立までの流れ

県議会では、知事や議員から提出された予算・条例などの議案の審議のほか、意見書の提出・決議、県政の調査・検査、請願・陳情の審査などを行います。

議員提出議案

知事提出議案



本会議の傍聴については、県議会議務局総務課 ☎078(362)3709へ

県議会ホームページ <http://www.hyogokengikai.jp/>

兵庫県議会

検索

※県議会の概要、傍聴のご案内のほか、本会議などの審議状況をインターネットによりライブ中継と録画配信しています。

フェニックス共済

兵庫県住宅再建共済制度

自然災害への備えは大丈夫ですか？
阪神・淡路大震災の教訓を生かした
助け合いの制度です！
マンション管理組合が加入できる制度
(共用部分のみ)もあります。

年額5千円で
最大600万円を給付

- すべての自然災害が対象です
- 複数年一括支払い割引があります
- 郵便局窓口でも申し込みできます
- インターネット申し込みもできます



フェニックスサポーター「はばタン」

給付金	給付対象	給付金額
再建等給付金	全壊・大規模半壊・半壊で再建・購入	600万円
補修給付金	全壊で補修	200万円
	大規模半壊で補修	100万円
居住確保給付金	半壊で補修	50万円
	全壊・大規模半壊・半壊で再建・購入・補修をせず賃貸住宅に入居した場合等	10万円

- 1 兵庫県以外で再建・購入した場合は、1/2の額となります。
- 2 賃貸住宅等は所有者が加入できますが、別途制約があります。

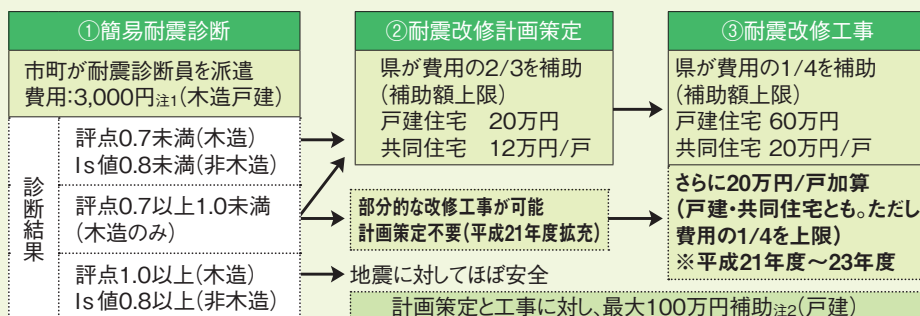
フェニックス共済

検索

☎(財)兵庫県住宅再建共済基金 ☎078(362)9400

進めよう わが家の耐震改修

昭和56年5月31日以前に着工された県内の住宅を対象に、住まいの耐震化を支援します。



注1 無料の市町があります。 注2 さらに上乗せ補助を実施している市町があります。

☎県建築指導課 ☎078(362)4340 http://web.pref.hyogo.lg.jp/wd30/wd30_000000017.html

ひょうごデータナビ

総人口

558万8,737人

全国7位

(平成19年10月1日 総務省「人口推計年報」)

面積

8,395.84km²

全国12位

(平成20年10月1日 国土地理院「全国都道府県市区町村別面積調」)

GDP

19兆6,467億円

全国6位

(内閣府「平成18年度県民経済計算」)

ひょうごの暮らし

消防団員数

4万5,779人 全国1位

(平成20年消防庁「消防白書」)



都市公園面積

60.18km² 全国2位

(平成19年国土交通省「都市公園等整備現況調査」)



公立一般病院数

53施設 全国2位

(平成19年厚生労働省「医療施設調査・病院報告」)



幼稚園数

748園 全国3位

(平成20年文部科学省「学校基本調査報告書」)



ひょうごの産業 全国1位

農水産物

酒米
「山田錦」

1万4,900t

全国シェア75.7%

ずわいがに

1,908t

全国シェア31.8%



はも

931t

全国シェア23.7%

(出荷量:平成19年農林水産省調べ、漁獲量:農林水産省「平成18年漁業・養殖業生産統計年報」)

工業製品

線香類

132億6,500万円

全国シェア 42.4%



学生かばん・
ランドセル等

86億8,700万円

全国シェア 40.6%



(出荷額:経済産業省「平成18年工業統計表 品目編」)

地場産業

釣針

151億9,700万円

全国シェア90%



マッチ

38億3,800万円

全国シェア94%



ケミカル
シューズ

500億2,000万円

全国シェア63%



(生産金額:兵庫県工業振興課「兵庫県の地場産業 平成19年度版」)

兵庫県の広報媒体

広報紙・誌

県民だよりひょうご

毎月発行(全世帯配布広報紙)／県の施策やイベント、地域の様子などを分かりやすく紹介します。

ニューひょうご

奇数月発行、書店でも販売(260円)／美しい写真を活用して県政やふるさとの話題を総合的に紹介します。

点字広報誌「広報ひょうご」

毎月発行／県政の動きなどを紹介。目の不自由な人に点字でお届けします。

(発行:財兵庫県視覚障害者福祉協会)

声の広報「愛の小箱」

毎月発行／県政の動きなどを紹介。目の不自由な人にカセットテープでお届けします。

(発行:財兵庫県視覚障害者福祉協会)

ひょうご県議会だより

4月・7月・11月・1月発行(全世帯配布議会広報紙)／2月・6月・9月・12月定例会の様子などを紹介します。

県議会情報誌「はい、県議会です。」

年1回(7月)発行／議会の役割や仕組み、常任委員会活動などを紹介します。

サンテレビ

週刊ひょうご「夢」情報

毎週日曜12時～12時30分(再放送:毎週月曜18時30分～19時)／県政ニュースや県政特集、地域の話題、各種募集案内などを盛り込んだ県政情報番組。

日曜さわやかトーク

毎月第2日曜(1月を除く)22時～22時30分／知事自らが県政推進の考え方を語るトーク番組。兵庫県ゆかりの有識者や地域で活動する人々との対談も放送します。

ラジオ関西

こちら知事室! 井戸敏三です

毎月第1水曜8時9分～29分／ワイド番組「三上公也の情報アサイチ!」に知事が出演します。

わくわく井戸端会議

毎月第4水曜16時45分～17時9分／ワイド番組「時間です! 林編集長」に知事が出演します。

兵庫県からのお知らせ

毎週月曜・水曜・金曜7時14分～17分／暮らしに役立つ情報や県政トピックスを放送します。

Kiss-FM KOBE

おはよう知事トーク

毎月第3火曜9時25分～45分／ワイド番組「BRANDNEW KOBE」に知事が出演します。

HYOGO INFORMATION BOX

毎週火曜・木曜17時25分～28分／若者や女性向けの県政のお知らせなどを放送します。

インターネット

兵庫県ホームページ

行政ニュースや防災情報、観光情報、県の記者発表資料、知事の動きなどを掲載しています。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/>

メールマガジン「ひょうごさわやか通信」

県政ニュースやイベント情報などを配信します。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/mailmaga/>

さわやか提案箱

県に対する意見を募集しています。

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/sawayaka.html>

モバイルひょうご

携帯電話向けホームページ

▶iモード(NTTドコモ) <http://web.pref.hyogo.lg.jp/i/>

▶EZweb(au) <http://web.pref.hyogo.lg.jp/ez/>

▶Yahoo! ケータイ(ソフトバンクモバイル)

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/j/>

※放送されたテレビ番組「日曜さわやかトーク」やラジオ番組「こちら知事室!井戸敏三です」「わくわく井戸端会議」「兵庫県からのお知らせ」「おはよう知事トーク」は、ホームページで視聴できます。http://web.pref.hyogo.lg.jp/governor/gov3_00000006.html

ひょうごのすがた



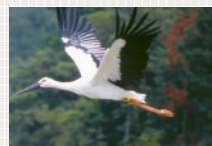
【県旗】セルリアンブルーをバックに、波の形をデザインした「兵」の字を白く抜き、南北を海に接した県の姿を象徴しています。(昭和39年制定)



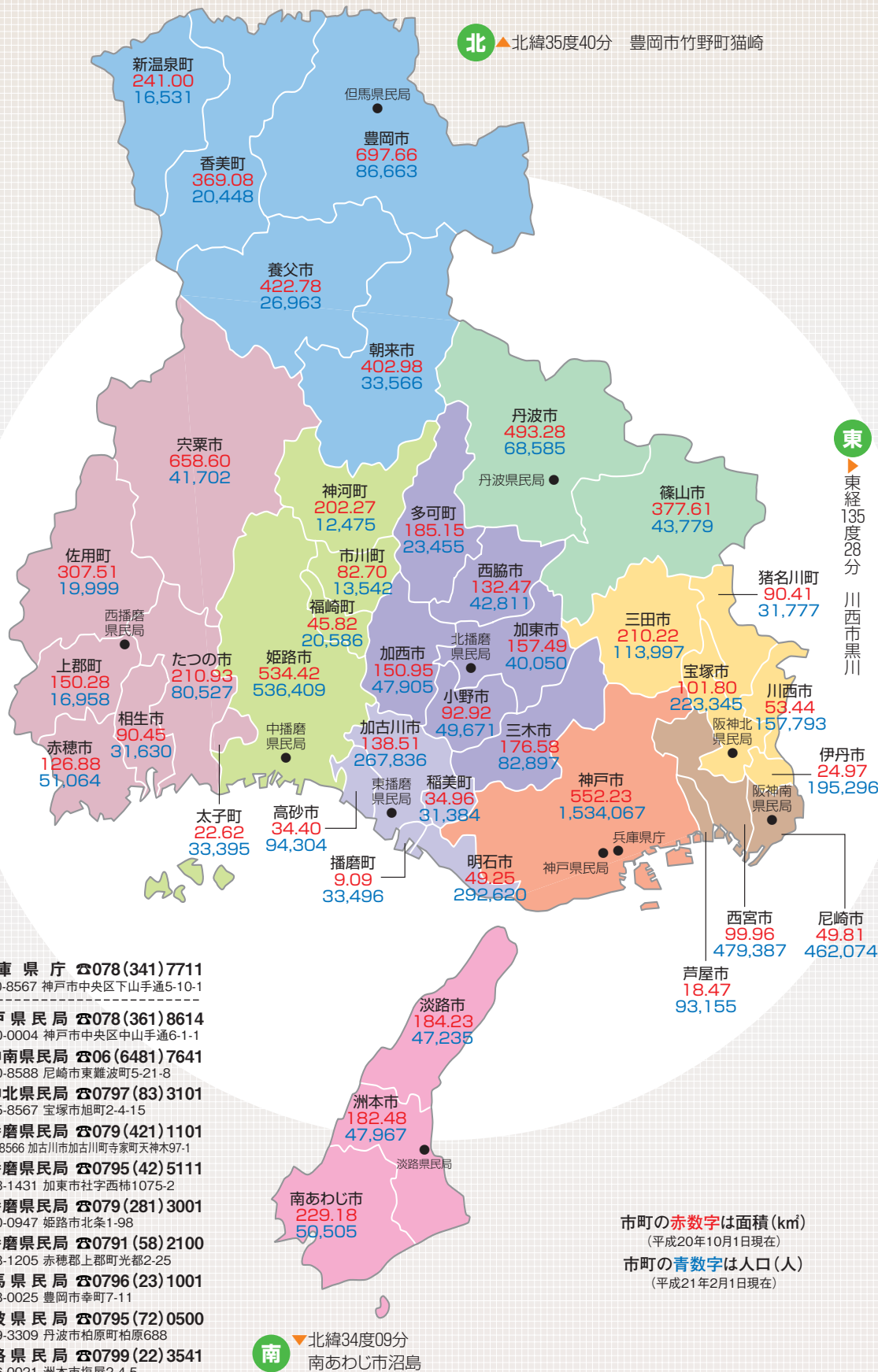
【県花／ノジギク】NHKが郷土の花を募ったとき、兵庫県の花として選ばれました。11月ごろ白い花を咲かせます。(昭和29年制定)



【県樹／クスノキ】雄健で雄大な姿が県のイメージと合います。県の天然記念物に指定されている樹もありです。(昭和41年制定)



【県鳥／コウノトリ】昭和31年に特別天然記念物に指定。但馬地域で保護・増殖。環境整備に取り組み、平成17年9月、野生復帰に向けた試験放鳥に成功しました。(昭和40年制定)



県政の総合的な相談窓口

●県民総合相談センター

078(360)8511 0120(16)7830

県政への相談(さわやか県民相談)のほか、相続や離婚などの家庭問題、高齢者、エイズ、勤労者、登記、住まい、交通事故、外国人県民、法律などの専門相談窓口を開設

※相談日時:さわやか県民相談は年中無休(9時~17時30分)

専門相談窓口は開設曜日が決まっているので、あらかじめ確認してください

●さわやか県民相談

※相談日時:月曜~金曜(9時~12時、13時~17時30分・祝日、年末年始を除く)

- | | |
|-----------------------------|-----------------------------|
| ▶ 阪神南さわやか県民相談室 0120(13)7830 | ▶ 西播磨さわやか県民相談室 0120(83)7830 |
| ▶ 阪神北さわやか県民相談室 0120(47)7830 | ▶ 但馬さわやか県民相談室 0120(31)7830 |
| ▶ 東播磨さわやか県民相談室 0120(26)7830 | ▶ 丹波さわやか県民相談室 0120(32)7830 |
| ▶ 北播磨さわやか県民相談室 0120(61)7830 | ▶ 淡路さわやか県民相談室 0120(36)7830 |
| ▶ 中播磨さわやか県民相談室 0120(27)7830 | ▶ 県庁さわやか県民相談室 078(371)3733 |